

2021年11月11日

各 位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証JASDAQ: 4316)

コロナ禍でニーズ拡大！ビーマップが開発・提供する 「J-TALK手話」が「MCPC award 2021」で奨励賞を受賞



モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)がモバイルソリューションの普及促進のために2003年以来毎年開催している「MCPC award」の2021年度各賞が11月5日に発表され、株式会社ビーマップ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉野文則、以下ビーマップ)が開発・提供している遠隔手話通訳サービス「J-TALK手話」が奨励賞を受賞しましたのでお知らせいたします。本賞は、パートナー企業である株式会社オサムインビジョンテクノロジー(本社：京都市中京区、代表取締役社長：河合俊明)、株式会社アステム(本社：大阪市北区、代表取締役：大嶋雄三)と共同での受賞となります。

「J-TALK手話」について

〈画面イメージ〉



〈利用イメージ〉



ホワイトボード機能で
文字や絵で補足もできます。



…
ホワイトボード機能
(文字や絵で補足)

本システムは、ビーマップが開発しました純国産遠隔多言語通訳サービス「J-TALK」の機能をプラットフォーム化し、手話通訳向けに拡張したものです。スマートフォン・タブレットのカメラ機能を活用し、画面上に通訳者と利用者の両方を表示する特長が、言語として、手の動きだけではなく表情も重要となる手話通訳の利用シーンにマッチしました。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、手話通訳者の感染を防止するため、マスク着用が求められるようになりました。しかし、手話でのコミュニケーションは手の動きだけではなく、表情や口の形から得られる情報も重要であるため、マスク着用では必要な情報が伝わりづらいという問題があります。

手話通訳は、本来、手話通訳者が現場に同行し、対面で行われておりましたが、手話通訳者への新型コロナウイルスの感染予防の観点から、現在、全国の14自治体で採用をいただいています。

このたび、「J-TALK手話」の実績が社会貢献の推進として評価され、「MCPC award 2021」奨励賞を受賞しました。なお、表彰式は11月25日(木)に東京プリンスホテルで行われます。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ビーマップ 事業推進本部 ソリューション事業部 担当：白井

電話：03-5297-2184

お問い合わせフォーム <https://www.bemap.co.jp/contact/contact.php>

ビーマップは、交通、通信、メディア、流通、外食と
社会のインフラになるサービスを高度な技術で支えています。

